



しじゅうから

福島市小鳥の森通信 2012年11月号 No.328

小鳥の森で観察してみよう 17

イカル

分類：アトリ科

大きさ：23センチ

生態：植物の実やタネ、虫も食べる雑食性です。

小鳥の森での観察：

秋に森でカッ、カッと鳴き飛んでいる姿を見かけることがあります。黒い翼に白いもようが目立ちます。



ペンチのようなくちばしはかたいものをつぶしやすい形をしています。

今回のイラストは、くまくら あいこさんが描いてくれました。

10月の自然

10月に入りネイチャーセンターの給餌が始まり、カラの仲間が給餌台でヒマワリの種を食べている姿が連日観察できました。

秋から冬にかけてカラの仲間は混群（こんぐん）で動きます。しかし、よく見てみると夏場にも目にしていたシジュウカラやヤマガラ、エナガに加えてヒガラやゴジュウカラも観察できるようになりました。ヒガラやゴジュウカラは小鳥の森よりも標高の高いところで子育てを終えてやってきたようです。

その他にジョウビタキ、ビンズイ、アカゲラ、モズ、イカル、シメなど秋から冬にかけてやって来る野鳥が観察できました。



シメ

11月の自然予報

11月は気温がグッと下がり、昼夜の温度差が大きくなり、紅葉し始めるころです。

昆虫は、にぎやかだった虫の声を聞く季節は終わりに近づき、土や木にもぐったり、卵を産んだり、サナギになったりと冬を越す準備をする季節に入ります。

葉っぱが落ち始めると、北から渡ってくる色々な冬鳥を観察しやすい時期になります。

また、近くを流れる阿武隈川にはハクチョウやカモが多数渡ってきます。これからの季節は小鳥の森周辺で紅葉散策や、森や川に渡ってくる冬鳥観察などを楽しめると思います。

今年はどうな冬鳥が来るかな？



ドングリを見てみよう！

これからの季節は緑の森も黄色、赤、オレンジ、茶色など秋らしい色に変わります。また、足元を見てみると色々な形のドングリがたくさん落ちている事にも気づくでしょう。

今回は小鳥の森で観察できるドングリの違いを見てみたいと思います。

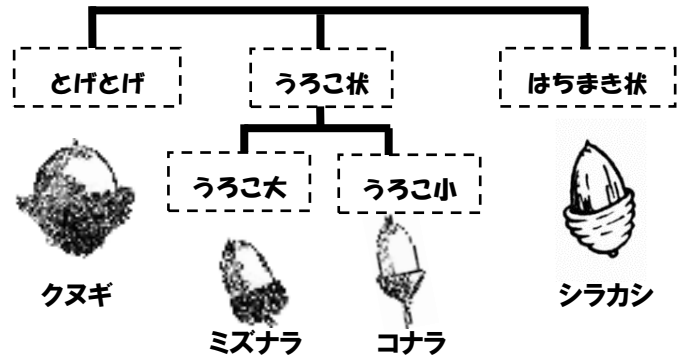
ドングリがかぶっている帽子（「殻斗：かくと」といいます）の形の違いで種類がわかります。

今回紹介した他にも色々な形のドングリがあります。ドングリをみつけたら、見くらべてみると面白いですよ。

ちがいを
見つけ
てみてね！



ドングリ殻斗(かくと)の形は？



出前講座を実施しています

小鳥の森では、市内の学校や様々な団体向けに出前講座を実施しています。生き物や自然についての学習や木工クラフトなどの体験講座を通して自然とのふれあい方を学ぶことができます。

10月には小学校や高校などで出前講座を実施しました。身近な生き物とのふれあいや野鳥の話、巣箱作り、植物の種の落ち方の実験等を行いました。参加したみなさんは興味をもってさわったり、聞いたりしていました。



※希望する方は2週間前までにお申し込みの上、事前打ち合わせが必要となります。

※他の団体と日程がかぶる場合は先着順となります。

(電話、FAXにて一度ご連絡下さい。)

なぜ葉っぱが落ちるの？

毎年秋に木の葉が赤や黄色、茶色になるのは知っていますか。でもなぜ木が葉を落とすか知っていますか。

秋になり日光をあびる時間が短くなると木が水分を地面から吸い上げる動きが弱くなります。

葉を落とさずにそのままいると葉っぱから水分が出て行ってしまい、やがて木は枯れてしまいます。それを防ぐために秋になると葉っぱを落とすのです。

秋になり紅葉するのは葉っぱを落とす前の準備のひとつでもあるのです。

また、落ちた枯葉にも役目があり、落ち葉が腐ることで木の栄養になる土に変わります。

紅葉は人の目を楽しませるものでもありますが、落葉も森を育てる姿の一部ということも知ってもらえたら、より自然の大切さを知ることができるとと思います。



※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森(ネイチャーセンター) 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日(祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山字宮脇98 Tel:024-531-8411 fax:024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/> ←アドレスが変更になりました

小鳥の森通信[しじゅうから] 2012年11月号No.328/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま